

事務事業名		水酸化促進事業			会計	下水道		事業種別			政策	開始	7	終了		
課等名		下水道課		係等名	普及係											
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり												
		施策	45	居住基盤の向上												
目的	対象(誰・何を)	下水道普及区域内で下水道に接続していない市民と事業所。										指標名及び単位		24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	下水道へ接続をする。										対象指標	下水道普及区域内の戸数(戸)(公共・特環・農集排) A		33835	
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度(%)														
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)							
	成果指標	下水道普及区域内の下水道接続済戸数(戸)(公共・特環・農集排) B			29548	30117	29500	29358								
	成果指標	接続率 B/A %			88.9	89	89.2	90								
	定性目標															
事業概要	下水道集合処理区域で、下水道工事施工済み区域の下水道へ接続していない市民及び事業所に対し、広報や訪問等により水酸化の必要性を説明して、啓発折衝を行い下水道への接続を推進する。															
事業内容					名称					活動指標						
24年度事業内容	1 下水道施工済み区域内で下水道へ未接続の世帯を促進専門員が訪問し、水酸化促進について説明を行なう。					1 水酸化促進専門員訪問戸数					1 1,318 戸					
	2 下水道全職員が時機期間をきめて、下水道施工済み区域内の下水道に未接続の世帯を訪問し、水酸化促進について説明を行なう。					2 下水道課職員促進訪問戸数					2 715 戸					
	3 下水道本管工事の説明会において、地区下水道事業推進委員会等の協力をいただき水酸化の必要性を説明して、早期の下水道接続を促進する。					3 工事説明会					3 2 回					
	4 受益者負担金の説明会において、地区下水道事業推進委員会等の協力をいただき水酸化の必要性と負担金について啓発を行う。					4 受益者負担金説明会					4 2 回					
	5 市の広報、マスコミ(FMいいいだ等)を利用した啓発、まちづくり委員会等に働きかけ、施設見学会などを行い、広く水酸化の普及を図る。					5 その他PRの機会					5 2 回					
	6 下水道施工済み区域内の未接続世帯を対象としたアンケート調査を行い、未加入世帯の水酸化促進を図る。					6 アンケート調査					6 622 世帯					
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足										
事業費計(千円)①		2,359	3,816	2,831	3,816	(その他)使用料1,416千円										
国庫支出金																
県支出金																
起債						[25特定財源]										
その他		1,424		1,416	3,816	(その他)使用料3,816千円										
一般財源		935	3,816	1,415												
人件費計(千円)②		0		30,579												
正規職員所要時間				7,950												
臨時職員所要時間				2,000												
総事業費①+②		2,359	3,816	33,410	3,816											
事業内容・目標達成状況の振り返り	飯田市のFMラジオや広報を利用した水酸化の啓発に取り組んだ。また、従来の促進専門員による戸別訪問に加え、下水道課職員による平日・休日の戸別訪問を行い、接続率の向上を図った。															
改革改善の考え方	①問題点	少子高齢化・人口減という社会情勢の変化や不安定な経済状況のため、下水道接続が計画通り進まない現状がある。														
	②改革提案	公共下水道・特定環境保全公共下水道区域内で下水道未接続家庭及び事業所に対し、広報や訪問等により水酸化の必要性を説明して啓発折衝を行い、下水道への接続を推進する。														